

大津町議会 文教厚生常任委員会行政調査

氏名 山本 富二夫

視察研修名：大津町議会文教厚生常任委員会行政調査

視 察 先：佐賀県基山町、福岡県久留米市、長崎県長与町、佐賀県武雄市

期 日：令和6年7月29日（月）～30日（火）

研修テーマ：基山町「基山っこみらい館の取組について」

久留米市「学校給食共同調理場の整備及び運営の状況について

長与町「部活動の地域移行の取組について」

武雄市「武雄市図書館見学」

研修報告 意見・感想

29日、議員5名と町の担当者3名で、基山町の基山っこみらい館の取組みについてと、基山町の認定こども園の現在までの取組みと、民間保育園との住み分けについて基山町担当者と意見交換をした。大津町の認定こども園を作るにあたり基山っこみらい館がゆとりを持っての対応ができる体制での認定こども園であると見学して感じた。

大津町の認定こども園を作るにあたり、園児の受け入れ態勢を民間の保育園等に指導しサポートシステムの充実した体制作りにも取り組んでもらいたい。

基山っこみらい館があることで、若い子育て世代の人が基山町に住みたいと思う環境整備と取組みを感じた。大津町も若い世代の受け入れ態勢に取り組んでもらいたい。

午後からは、久留米市中央学校給食共同調理場の整備及び運営の取組みについて視察を行った。

大津町の生徒数の増加による今後の給食共同調理場の在り方について、どう町は対応検討すべきかを、議員5名と町担当者3名で久留米市が取り組まれた給食センターPFI事業の概要について、給食センター長から説明を受けての質問をした。

給食センター長からは、事業方式は任官事業者が建物の設計、建設、維持管理、調理業務、配送まで包括的に行うPFI方式を採用、施設完成後、所有権を久留米市に移転し運営する「BTO方式」や久留米市と事業者との役割分担等について聞いて、給食センターの施設見学も行ったうえでのPFI方式のメリット・デメリットについても、尋ねてみた。センター長からは、民間のノウハウを活用できるのと、トータルコストの縮減が見込まれる等々の返答があり、大津町も給食センターのPFI方式を真剣に検討すべきと感じた。

30日は、部活動の地域移行の取組みについて長与町の金崎教育長より、令和3年度から長崎県地域部活動推進事業を県内で唯一委託を受け、実践研究を実施していると聞いた。

国・県の方針に基づき、長与町部活動方針を定めて、各町立中学校が実施をし、生徒の自主的な活動として行われており、各学校には部活動後援会があり、県・九州大会等への参加等には保護者の支援を受けている。

令和5年度からは、休日（土日・祝日）の運動部活動すべてを地域移行にしていくとのことであり、教育長の強い指導力を感じた。大津町も部活動の地域移行を目指すならば、長与町の取り組み方を参考にして、地域移行を目指すべきだと思う。

午後からは、武雄市から蔦屋書店が委託を受けて図書館の運営を行っている状況を1時間ほど見学してみた。平日なのに多くの方が利用しておられた。図書館内には、スターバックスコーヒー店もあり、ゆっくり休んで本を読むスペースが確保されているのが、多くの方々が図書館を利用していると感じた。大津町図書館も館長の取り組みが今までとは違い、変化が見られ利用者が増えているので期待をしている。